

行政改革推進審議会 会議概要

第4回会議	
開催日時	平成19年5月9日(水) 14時30分 ~17時00分
開催場所	山陽小野田市役所 第一委員会室
出席委員	7名出席(2名欠席)
出席職員	市長・市長公室長 行政改革課職員3名 企画課職員(行政改革策定専門部会「計画評価作成部会」部会長)1名
協議概要	<p>1 具体的な改革項目についての協議</p> <p>○行政システムの改革(総合計画と行政評価) (企画課職員より説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 合併後の本市が置かれている立場をきちんと把握するとともに、市民と行政の役割分担を明確にして納得できる新たな仕組みが必要である。行政評価により職員の意識改革を促進し、市民意識も協働へと向かってほしいと思う。</li> <li>・ 行政評価システムの構築にあたり、二つのアプローチを考えている。一つは組織の健全化であり、存在感のあるまちを目指す。もう一つは財政の健全化であり、信頼感のある行政運営を目指す。</li> <li>・ 総合計画は市民の計画であり、その中の基本計画は政策と施策を掲げたものであり、実施計画は施策と事務事業を掲げたものである。一方、行政評価は総合計画の体系に合わせたものであるべきであり、市民と行政との間における情報のキャッチボールとしての機能を有するものでなければならない。 また、P(計画)D(実施)C(評価)A(改善)サイクルにより、常に見直しを行う仕組みが必要である。</li> <li>・ 本市の施策を分類すると60施策程度になろうが、これらの評価については課長級の職員で取組む。1施策について5~6人の課長による評価委員会を作成し、主管課長を中心に評価していく。 1,000を超える事務事業については、主として担当係長による評価とし、その内容は必要性、効率性、有効性、公平性の観点からの評価である。 いずれも、情報公開、情報共有の観点からの公表を行う。実施時期については、平成19年度を準備期間(システム構築)とし20年度からの実施とする。</li> </ul> <p>(委員からの主な意見等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1+1=2ではなく、1+1=3になるような取組みが行政改革であるのではないか。</li> <li>・ 提案されている行政評価を導入するという事は、大変すばらしいことであり、本市の現状からしても早急に取り組まなければならないことであるが、職員の事務負担を大幅に増やすことになると思う。職員の意識改革がついていけるのか心配である。行政評</li> </ul>

価の導入に先行して、職員の意識改革を強烈に推進すべきである。そうしないと、この行政評価は失敗に終わってしまう。

- ・市役所職員は縦割り意識が強く、部門横断的に連携して仕事をしていくことが不得手であると思う。横のつながりを強化して、職員が同じ意識を共有し、一丸となって仕事をするシステムづくりを考えるべきである。
- ・組織を動かすのは長である。市長は我々市民が選んだ代表なのだから、市民の立場で職員を指導してほしい。
- ・「こういう市にしたい。だから職員全員でこういう取組みをします。」という市長の具体的な言葉が必要である。トップが繰り返し同じ言葉を口にすることで、職員意識は少しずつ改善されていくと考える。

現状を勘案すると、まず職員意識をどうするかを議論しないと、個別の行政改革項目について議論しづらい。

## 2 その他

次回開催 平成 19 年 5 月 23 日 (水) 15 : 00 ~

その後の開催予定

6 月 4 日、6 月 8 日、6 月 12 日、6 月 21 日、6 月 27 日

協議概要

協議概要

協議概要	
------	--